

学力向上は日々の授業の充実から

～ 分かる喜びや、考える楽しさを実感させる授業をめざして ～

◆ みやざきスタイルの社会の授業 ◆

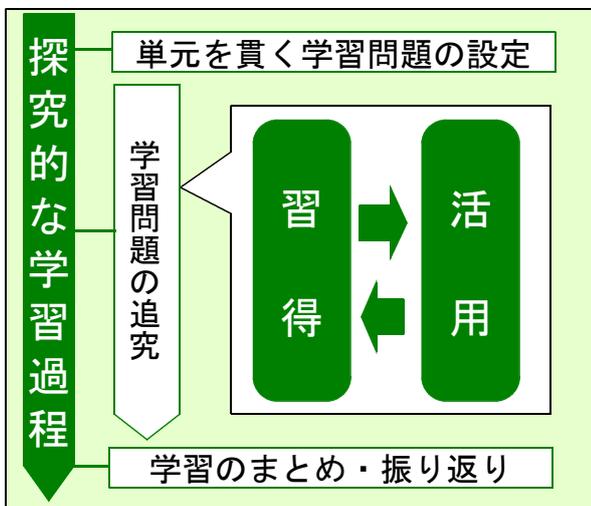
「社会的な見方や考え方を育てる」授業を

ポイント
1

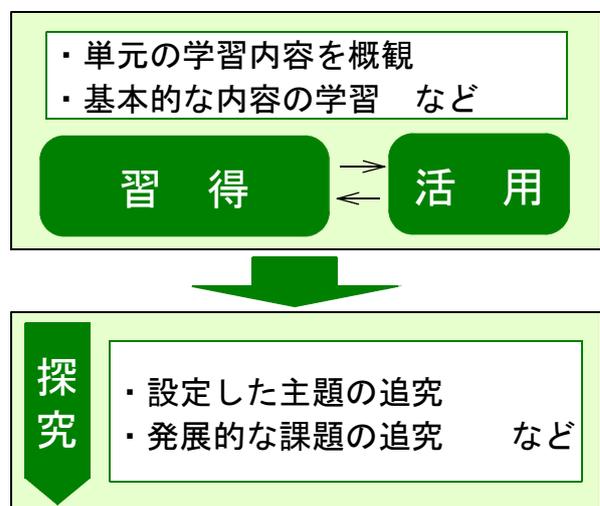
「習得」、「活用」、「探究」を意図した単元の指導計画を立てる。

〔 単元のイメージ（例） 〕

単元全体を探究的な学習過程とする場合



単元前半の学習を踏まえ、後半に探究を位置付ける場合



ポイント
2

「問題解決的な学習」を中心とした学習過程を工夫する。

〔 1 単位時間の授業展開イメージ（例） 〕

		授業で心がけたいこと
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 追究意欲 の喚起 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料提示を工夫するなどして、子どもに疑問をもたせる。 ○ 子どもたちの疑問などをもとに学習問題を設定する。
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 見通しを もたせる </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題追究への見通しをもたせる。 ・ 学習問題に対する予想、調査内容の吟味 など
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 適切な資料 の活用 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題を追究する。 ・ 説明をきく、調べる、情報を読み取る など
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 思考力・判断力・ 表現力等を高め る言語活動の位 置付け </div>	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の情報を比較したり関連付けたりして考える。 ・ 分かったことや考えたことをもとに判断する。 ・ 分かったことや考えたことを表現する。 ・ 意見交換をするなどして考えを深める。
終 末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習のまとめ 振り返り </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容のまとめをする。 ○ 本時の学習を振り返らせる。

ポイント
3

学習内容を構造的にとらえた上で、問いの質を踏まえながら指導を工夫する。

〔 問いの種類・質、指導のポイント 〕

主な問いの種類	問いの質 (どのような内容の獲得を目指す問いか)	指導のポイント
A なぜか？	考えなければ分からないこと	教師が説明してしまうのではなく、 <u>しっかり考えさせる</u>
B どのように？ (広がっているか、変化しているか等)	調べたり、読み取ったりして 分かること	適切な資料を準備する 資料は精選する
C 何か？ だれか？ いつか？	読み取りや説明を聞いて分かること	確実に習得させる

※ 問いの質は、基本的には「**C** < **B** < **A**」へと高まっていくので、**B**や**A**を意図的に位置付けることで、子どもたちの社会的な見方や考え方を成長させることができます。

ポイント
4

子どもたちの主体的な学びを促すための手立てを工夫する。

子どもたちの主体的な学びを促していくためには、学習活動の各場面で、次のような手立てを工夫していくことが大切です。

例えば、こんな手立てを…

■ 学習問題の設定にあたっては…

- 複数の情報(資料)を対比的に提示するなどして、子どもに疑問をもたせる。
- 教師が一方向的に提示するのではなく、子どもたちの疑問を生かしながら、学習問題を設定する。

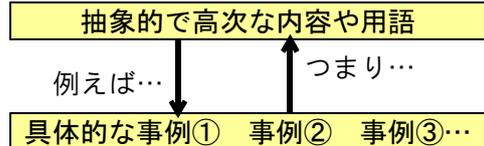
学習問題の設定例 (※ aとbとを対比的に提示する例)

事象 a ⇔ 事象 b

例) なぜ人口が増えているのに、ごみの量が減っているのか？
なぜ以前は人口が多かったのに、今は少ないのか？

■ 教師の説明においては…

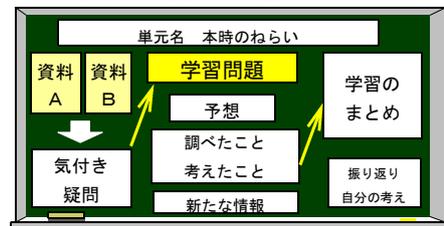
- 「つまり～」と「例えば～」を意図的に使うことで、思考の整理を促進する。
抽象的な内容や用語を理解させるには具体例を示し、具体例がたくさんある場合にはそれらを集約するような説明が効果的である。



■ 言語活動においては…

- 思考力や判断力、表現力等を鍛える上で、非常に重要な学習活動である。
- どのようなねらいで、どのような活動を行わせるのかを明確にした上で、「読み取り」、「解釈」、「説明」、「論述」などの手立てを工夫していくことが大切である。

■ 板書の構造化を…



■ まとめと振り返りの場面では…

- 学習問題に対するまとめを教師が行い、子どもたちが学習してきたことをきちんと整理することが大切である。
- その上で、子ども自身の考えや感想もノートに書かせるなどして振り返らせ、評価に活用することも大切である。

教師によるまとめ

+

子ども自身の振り返り

ポイント
5

「説明に傾斜した指導」や「『覚えればよい』と思われる授業」から脱却する。